

東葛支部会報

第15号

千葉工業同窓会東葛支部

2007年11月1日



▲川崎市立高津図書館

第9回 東葛支部定期総会開催

東葛支部第9回定期総会を、去る6月10日(日)13時より、市川市八幡神社内にあります「八幡会館」にて開催されました。

当日は、あいにくの雷雨でしたが、県外会員の方も多数出席していただき、来賓の方を含め総勢57名の皆さんに、お集まりいただき、議題は、「平成18年度会務報告」「平成18年度決算報告及び監査結果報告」「平成19年度会務計画(案)」「平成19年度予算(案)」「東葛支部役員の一部改選の件(案)」の5議題でしたが、議事の結果いずれも賛成多数で承認いただきました。

今回、支部役員の改選で、支部長が交代しました。創立以来、支部長をお願いしてきました、立崎支部長より吉田新支部長に引き継がれました。

続いて、宮内新同窓会会長、関屋学校長、段木同窓会顧問の御祝辞を頂いた後、場所を八幡会館内の懇親会会場に移し、恒例の楽しい懇親会を行いまして、最後に、懐かしい校歌を参加者全員で合唱し、別れを惜しみ閉会しました。

今回15号の表紙の写真は川崎市立高津図書館を題材に飾って見ました。

■第1号議案 平成18年度 会務報告

年 月 日	実 施 内 容	実 施 場 所
18. 6. 4	北総支部定期総会	佐 倉：ホテル リッチタイム
10	環境整備委員会	千 葉：母校・会議室
12	東葛支部定期総会	市 川：八幡会館
18	千葉市東支部定期総会	千 葉：平成館
7. 2	千葉市中支部定期総会	千 葉：ポートプラザちば
15	東葛支部幹事会	柏：高柳近隣センター
8. 1	本部主催：囲碁大会・在校生交流	千 葉：西千葉囲碁センター
12	支部長連絡会議	千 葉：平成館
13	男の料理塾(焼肉)	千 葉：福 酔
9. 18	東葛支部県外地区幹事会	横 浜：東京ガス会館
30	南総支部30周年記念式典	木更津：木更津市民会館
10. 17	本部主催：ゴルフ大会	睦沢町：房総CC・大上
17	本部主催：囲碁大会	千 葉：西千葉囲碁センター
22	東葛支部ハゼ釣り&バーベキュー	市 川：江戸川河川敷
28	本部主催：麻雀大会	千 葉：麻雀太郎
11. 7	東葛支部ハイキング	奥多摩：鳩ノ巣溪谷
22	東葛支部常任幹事会	柏：高柳近隣センター
25	母校創立70周年記念式典	千 葉：母校&グリーンH
12. 7	本部主催：ハイキング同好会	相 模：生藤山
16	東葛支部幹事会&忘年会	横 浜：東京ガス横浜
19. 2. 22	東葛支部幹事会	柏：高柳近隣センター
3. 11	南総支部定期総会	木更津：木更津市民会館
4. 1	第22回同窓祭	千 葉：母校・食堂
5	本部主催：市川&柴又ウォーキング	市 川：市川・松戸・柴又
8	外房支部定期総会	東 金：八鶴亭
17	本部主催：囲碁大会	千 葉：西千葉囲碁センター
21	千葉西支部定期総会	千 葉：ポートプラザちば
22	東葛支部幹事会	柏：高柳近隣センター
5. 13	京葉支部定期総会	船 橋：玉川旅館
14	同窓会本部：常任幹事会	千 葉：母校会議室
15	千葉市3支部&外房支部チャリティーG	睦沢町：房総CC・大上
20	同窓会本部：総会	千 葉：母校会議室
27	市原市支部定期総会	市 原：サンプラザ市原

■ 第2号議案 平成18年度 決算報告

● 収入の部

費目	平成18年度予算(A)	平成18年度決算(B)	差額 (B)-(A)	内 訳
前年度繰越金	60,229	60,229	0	
年会費	195,000	207,000	12,000	会員年会費 69名×3,000=207,000
本部助成金	108,000	113,000	5,000	渉外助成金 80,000 活動助成金 23,000 一律助成金 10,000
寄付金	3,000	5,209	2,209	総会二次会費 4,209 役員会二次会 1,000
総会費(懇親会)	270,000	270,000	0	本部・各支部(30名) 5,000×30=155,000 東葛支部(23名) 5,000×23=115,000
行事費	0	24,000	24,000	ハゼ&BQ、ハイキング 肉、飲料、他
雑収入	771	0	▲771	
合計	637,000	679,438	42,438	

● 支出の部

費目	平成18年度予算(A)	平成18年度決算(B)	差額 (B)-(A)	内 訳
総会費 (含懇親会費)	290,000	295,320	5,320	飲食代 274,000 総会資料 37,867
会報発行費	130,000	128,890	▲1,110	会報13号・14号 会報発送費 9,400
名簿発行費	5,000	0	▲5,000	H19.7 発行予定
会議費	15,000	13,526	▲1,474	幹事会(4回)、飲料 会場使用料他
事務通信費	30,000	33,716	3,716	会報送付代、振込料 事務用品、ハガキ等
渉外費	120,000	116,000	▲4,000	他支部定期総会出席、 他
行事費	20,000	32,771	12,771	バーベキュー用材料 支部ハイキング補助
雑費	5,000	14,721	9,721	写真焼増し、送料
予備費	22,000	0	▲22,000	
合計	637,000	634,944	▲2,056	

(収入) (支出) (残金)
《決算》 679,438 - 634,944 = 44,494 (平成19年度に繰越)

会計監査報告

平成18年度の会計処理について、各帳簿と証拠書類とを照合監査の結果、いずれも適正に処理されており、決算報告書の通り相違ないことを認めます。

平成19年5月20日

会計監査 竹内 昭夫 (印)

会計監査 伊橋 潤一 (印)

■ 第3号議案 平成19年度 会務計画(案)

- | | |
|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 平成19年度
第9回定期総会 | (1) 開催日時 平成19年6月10日(日) 13時～
(2) 開催場所 八幡会館 市川市八幡4-2-1 |
| 2. 常任幹事会の開催 | ●年2回以上開催 |
| 3. 幹事会の開催 | ●年3回以上開催 |
| 4. 会報の発行 | ●年2回発行 第15号 平成19年11月
第16号 平成20年4月 |
| 5. 会員名簿の発行 | ●平成19年7月に配付 イ. 県外会員を含めた名簿の発行 |
| 6. 地区懇談会の実施 | ●地区ごと又は一部合同して地区懇談会を開催し、会員相互の親睦と人間関係が図れるよう企画する
☆市川・浦安地区、☆松戸・柏・我孫子地区、
☆野田・流山地区、☆県外地区 |
| 7. 渉外活動の展開 | ●会員の増加と組織の充実を図ると共に、本部への協力、他支部との協力を図る
① 県外会員への加入活動を図り会員増と組織の充実
② 同窓祭(第23回)への参加
③ 他支部定期総会への参加
④ 「本部レクリエーション委員会」開催行事への積極的参加 |
| 8. 会務行事の企画 | ●支部の行事並びに研修会、レクリエーション等を企画する
① 会員の親睦旅行、研修会を企画し会員相互の親睦を深める
② レクリエーション(ハイキング・バーベキュー・ゴルフ、トレッキング等)を企画し、会員相互の体力維持向上に努める
③ 本部(レクリエーション委員会)、各支部との連携を深め、同好会への積極的な参加を促進すると共に育成に協力する |

■ 第4号議案 平成19年度予算(案)

(案) 井の原支部 家庭科 家庭科

● 収入の部

費 用	金 額	内 訳
前年度繰越金	44,494	
年 会 費	210,000	70名(予定)×¥3,000
本部助成金	113,000	渉外助成金 ¥80,000 活動助成金 ¥18,000 一律 ¥10,000
寄 付 金	3,000	
総 会 費 (懇親会)	280,000	本部・各支部(30名)東葛支 部(26名)計56名出席予定
行 事 費	25,000	
雑 収 入	506	
合 計	676,000	

● 支出の部

費 用	金 額	内 訳
総 会 費	290,000	懇親会費、資料作成、写真代
会報発行費	130,000	会報15号、16号印刷代
名簿発行費	10,000	発行予定19年12月
会 議 費	15,000	幹事会会場使用料他
事務通信費	35,000	会報送付代、事務用品、切手他
渉 外 費	120,000	他支部定期総会出席他
行 事 費	45,000	ハゼ釣り&バーベキュー大会 支部ハイキング補助費
雑 費	5,000	
予 備 費	26,000	
合 計	676,000	

■ 第5号議案 役員改選の件(案)

※・太文字が新任

顧問	永 峯 清 秀 (旧職) 《留任》
顧問	・立 崎 作 次 (26C) 《新任》
相談役	田 口 昭 (25E) 《留任》
1. 支 部 長	・吉 田 勝 彦 (32E) 《新任》
2. ① 副支部長	高 橋 健 一 (29C) 《留任》
② 副支部長	中 村 軍 治 (32M) 《留任》
③ 副支部長	坂 卷 実 (34M) 《留任》
3. ① 会計部長	・伊 橋 潤 一 (27E) 《新任》
4. ① 事務局長	木 間 英 一 (33C) 《留任》
5. 地区相談役 (東京・神奈川)	豊 田 治 司 (20C) 《留任》
① 地区長 (松戸・柏・我孫子)	・立 崎 作 次 (26C) 《新任》
② 地区長 (市川・浦安)	芝 田 康 雄 (28E) 《留任》
② 地区長 (東京・神奈川)	鶴 岡 和 敏 (27E) 《留任》
副地区長 (東京・神奈川)	左 氏 靖 雄 (29C) 《留任》
6. ① 常任幹事	志 賀 薫 (32M) 《留任》
② 常任幹事	石 井 健 治 (36M) 《留任》
③ 常任幹事	滝 口 貞 一 (40E) 《留任》
④ 常任幹事	・富 田 博 (44M) 《新任》
⑤ 常任幹事	・土 屋 孝 夫 (34M) 《新任》
⑥ 常任幹事	・吉 田 典 昭 (34M) 《新任》
7. ① 幹 事	前 原 睦 雄 (19E) 《留任》
② 幹 事	・竹 内 昭 夫 (20C) 《新任》
③ 幹 事	・錦 織 五 雄 (32E) 《新任》
④ 幹 事	斉 藤 進 (34M) 《留任》
⑤ 幹 事	・高 木 昇 (36E) 《新任》
⑥ 幹 事	恩 田 勝 (38C) 《留任》
8. ① 会計監査	・櫻 井 一 三 (33M) 《新任》
② 会計監査	・鎌 形 武 久 (33C) 《新任》
9. 退 任 者	渡 辺 秀 男 (33C)

東葛支部長を拝命して



東葛支部 支部長
32E 吉田 勝彦

今年度より、支部長という大役を拝命致しました、吉田(32E)でございます。

先ずもって東葛支部設立以来、永きに亘り私達のリーダーとしてご尽力いただきました立崎前支部長に心から敬意を表し感謝申し上げます、ありがとうございました。

今後ご指導を賜り度くお願い致します。

さて、私の役目は高校時代、たった三年間を過ごした千葉工業高校のつながりで入会した、会員の皆様が種々のリクリエーション(ゴルフ・ハイキング・囲碁・麻雀・バーベキュー等々)並びに、集会による交流を深め一緒に笑って元気に過ごせる『魅力ある東葛支部づくり促進』には何が必要か…と考えた時、設立当初は先輩・後輩と言うだけで顔も名前も知らなかった会員が何度かお会いした結果、世代を越え、お互いの立場を理解し、趣味のこと・余暇の過ごし方・地域社会への貢献の仕方等々の話し合いを通して絆をより密なものになったのが同窓会活動の良い所です。

その反面、現役バリバリの方々は「同窓会活動などやってる暇がない」と言う事も耳にいたします。勿論現役の方の会員もおりますが…

ご存じの通り戦後ベビーブームに生まれた人達(団塊の世代)が六十歳で定年退職を迎え、多くの時間を地域で過ごす様になっています、この様に地域に根づく団塊の世代の皆様は体力があり、気力も充実しています。

また仕事で育んださまざまな能力を持っていると思います。

今年度の目標のひとつに団塊の世代の方々同窓会の話題と活動の場所を提供し、皆様の理解を得て、その方々の力が大きく発揮出来る様に努める事を揚げたいと思います。

『人間は自分自身の事ばかり考えるのではなく、人に役立つ事も考えるべきだ』

これは高校時代のラグビー部監督であり三年生の担任でもあった、故村越林太郎先生の言葉で私のモットーとしているところです。

どんな小さい問題でも情熱と責任を持って行動し微力ながら努力する所存です、会員皆様様のご理解とご協力を心からお願い申し上げ就任の挨拶とさせていただきます。

東葛支部長退任の挨拶



東葛支部 前支部長
26C 立崎 作次

私は平成19年6月10日、東葛支部第9回定期総会に於いて、東葛支部初代の支部長を退任いたしました。

在任期間は平成11年6月20日から平成19年

6月10日迄の8年間です、平成10年10月15日の支部発起人会を含めると8年8ヶ月になります。

平成10年当時の千葉工業同窓会の組織状況は県下唯一の県立工業学校としてスタートした歴史ある母校への誇りと、社会的に地歩を固めている卒業生は実力集団と化して、同窓会活動には極めて熱心な方々が多く、目を見張るものがありました。

そんな環境の中、カリスマ性に富んだ、安藤前会長以下、本部幹部は全県下に支部を設置するという意欲に燃え、各エリアに次々と支部を設置して、最後に未設置として残っていたのは東葛エリアのみでした。

当時、組織部長として全県下を網羅するという意欲に燃える、早尾茂さん(26E)現北総支部長は第9番目支部設置指導者として献身的活躍をして頂きました。

以上の様な背景の下、発起人会及び3回の設立準備会を重ね平成11年6月20日に、柏市近隣センターにおいて創立総会を開催する事ができ、初代支部長に推され、支部長としての不安、責任の重大さ、暗中模索の支部運営等を考え、身の引き締まる思いでした。

創立総会には安藤前会長以下、本部幹部並びに県内の支部他役員方々の御出席を頂き、その総会が閉じる間際に、故景山先生(第5代校長)から声をかけられ、『立崎君よくやった、支部運営は持続が肝要だ、途中下車は絶対ならんぞ』と激励され、今でも鮮明に覚えているのは先生から右手親指が痺れる程強烈に握手された感触です。

その後の支部活動は「和」を第一に考え、役員総意の把握に努めて運営して参りまして幸い、副支部長、事務局長以下各役員は聡明な方々が多く、人材に恵まれました。

1. 主な活動

(1) 会務計画は委員会制により実施

5委員会を設定(渉外、会報編集、常任幹事会等、RE、会員増促進)し各委員会の委員長は副支部長とし、全役員が何れかの委員会に所属する様にしました。

(2) 創立5周年記念大会の実施

第6回定期総会を兼ねて、平成16年6月に実施しました。

記念講演として、講師に東葛支部会員の吉

田靖さん(26C)にお願いし、講演内容は“金利”の難しいお話でしたが、吉田さんに分かりやすく、楽しく講演していただきました。

(3) 県外地区の設置

平成14年、坂巻副支部長及び34M同期の吉田さん、土屋さん、並びに大先輩の豊田さんの御支援を得て、横浜市の“東京ガス会館”に於いて、県外地区設立総会を実施いたしました。

2. 今後の課題展望

- (1) 生実卒業生の会員化
- (2) 県外地区(埼玉、茨城)在住卒業生の会員化
- (3) 離脱会員への対処

あとがき

支部長在任期間4期(8年)という長いような、又短い様な期間において、本部及び各支部の歴代役員の皆様と、多くの交流があり、沢山の友人、知人を得た事は私の有形、無形の大きな財産ではないかと自負しております。以上、乱雑な拙文となりました。

当支部は後任の見識豊かな、吉田勝彦支部長(32E)のもと、優秀な役員が数多く在籍する支部なので、益々の発展し、その存在感を高めていくものと信じています。

最後に、永い間、公私共に大変お世話になり、誠にありがとうございました。



『私の家庭菜園』 畑に遊ぶ

第12代 千葉工業高校 校長 鈴木 和美



八月下旬ともなると秋蒔き野菜の準備に追われ、施肥、中耕、畝たてと決まりの作業が始まる。ところが、今年は例年になく真夏日が続き、里芋、さつまいも、落花生に枯れ株が目立つようになっており、秋蒔き野菜には、未だ手つかずの状態である。

どのくらいの畑(田は貸してある)かという、約2000m²。そのうち作付け面積は約7割、他は、雑草に占拠されている。道具は鍬、鎌等に加え耕運機3台(深度、畝幅によって使い分けてる)を揃え、形だけは専業農家並みである。

野菜は「人の足音を聞かせて育てる」と聞かされてきた。

キャベツ、ブロッコリー、小松菜等、人が美味しいと思うものは、虫も好む。毎朝見回りしないと、またたく間に虫に食べられてしまう。人の足音を聞かせろは、このことなのだろう。

野菜づくりの基本は、土づくりである。土づくりは、

堆肥を十分利かせることである。

幸いに、近くに畜産農家があり、そこから譲ってもらっている。ただ、一輪車で撒くという単純作業なので、直ぐ嫌気がさし横着し作業をはしってしまう。

秋蒔き野菜として準備した種は、キャベツ、ホーレン草、ブロッコリー、小松菜、春菊、レタス、からし菜、エシヤレット、空豆、えんどう豆等である。

消費は、子供3人(孫7人)と親せき、無農薬(微農薬)を強調し、多少の虫食いも嫌がらず食べるよう言い続けてきている。

年を重ね、体力も落ち、一日続いたものが半日となっている昨今「おじいちゃんの作ったお芋」と言って食べていると聞くと、「頑張らなくては」と元気がでる。

晩酌が今日一日の句読点。こんな毎日(畑で遊ぶ日々)を送っている、祖先の残した田畑を耕し健康でいられることに感謝しながら。

◆ 平 将門 (その2)

平安中、末期の将門伝説と将門像

将門が神仏によって討たれたとする調伏伝説は、将門伝説のなかでも最も早い。

将門調伏伝説の基本的なことは、将門が寺社の調伏祈祷によって討たれるとするところにある。

将門追討における神仏の霊験と、それを発動させた祈祷者の験力をたたえたものに他ならない。

それゆえ将門調伏伝説は、調伏祈祷を行った寺社及び人物によって、作られたものである。

すなわち体制側、朝廷側の伝説といえよう。

したがって、調伏伝説は西日本を中心に多く見られる。

将門記には、将門の反乱を受けた朝廷が神仏に祈祷する話をのせ、その後神籤による死をのせている。

これに対して、将門の乱より150年後の史書である「扶桑略記」では、将門の死について二つ載せている。一つは将門が貞盛の矢に当たって落馬し、秀郷がその頸を斬った、という説と、もうひとつは神籤にあたって死んだとする、「将門記」真本の説である。

この調伏伝説は、種々の調伏祈祷と、それにたずさわる霊験譚が語られる中で、次第に尊意の調伏祈祷の説話に収められていったと思われる。

将門岩と純友岩(比叡山 延暦寺)

10世紀、東国では平将門、西国では藤原純友が王朝政権に反抗して、兵を挙げた。

世に承平、天慶の乱という。

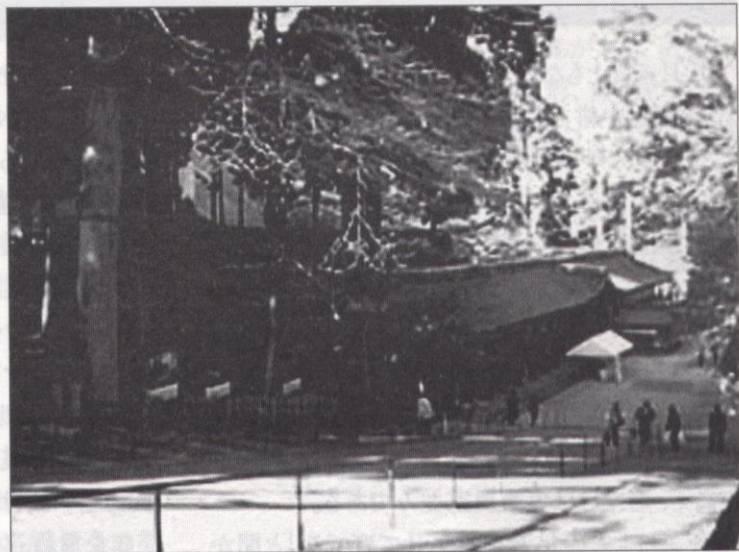
乱はやがて鎮圧され、将門も純友も殺された。だが、将門の怨霊だけは、天下の人心に異常な恐怖心を植えつけた。

誰が思いついたのか、比叡山山頂、四明岳の岩上で、将門と純友が語らって京都盆地を見下ろしながら、反乱を計画したのだという。

この史実はないが、将門怨霊伝説が比叡山にもよんだ。

将門の反乱が明らかになった940年、延暦寺においても、反乱を調伏する祈祷が行われていた今でも、この将門岩と純友岩は、調伏され、押しつぶされた岩だと、言い伝えられている。

次号へ



▲比叡山延暦寺根本中堂

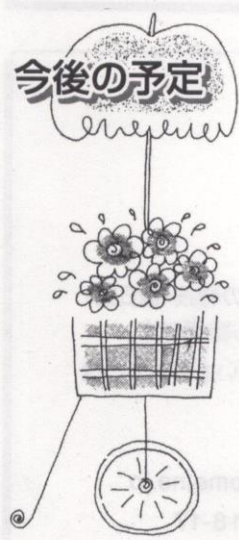
参考文献

平将門資料集 坂東市史編さん委員会
NHK 仏教新発見

● 皆様の趣味や得意とするものをご連絡下さい ●

会員の皆様は、色々な趣味をお持ちだと思いますが、比較的ポピュラーと思われるものについて、役員の中かで一応の担当者を決めてあります。会員の皆様のご趣味・得意な分野・特技などを把握し、色々な行事や交流にお誘いしたいと考えています。趣味や得意な分野が一致した方は、それぞれの担当者までご連絡下さい。

- ゴルフ 櫻井 一三 〒279-0022 浦安市今川4-8-7 TEL.047-352-5569
- ハイキング 木間 英一 〒270-0002 松戸市平賀125-10 TEL.047-343-0455
- 囲碁・麻雀 高橋 健一 〒270-0157 流山市平和台5-400 TEL.04-7159-9367
- スーパー紙とんぼ 鎌形 武久 〒270-2241 松戸市松戸新田21-3 TEL.047-364-5084
- 茶道 富田 博 〒272-0015 市川市鬼高3-12-39-516 TEL.047-393-0850



今後の予定

当支部の予定

11月1日(木)
◆ハイキング同好会
◇奥武蔵・黒山三滝ハイキング

11月17日(土)
◆幹事会
◇高柳近隣センター

11月25日(日)
◆ハゼ釣り&バーベキュー
◇江戸川河川敷

12月1日(土)
◆会報16号原稿募集

平成20年
1月15日(火)
◆幹事会及び新年会
◇横浜

本部・他支部の予定

11月13日(火)
◆支部連絡委員会及び
同窓祭実行委員会

11月25日(日)
◆本部 ハイキング
◇百蔵山(標高1003m)

平成20年
1月15日(火)
◆本部 囲碁大会

1月31日(日)
◆環境整備委員会(母校)

3月9日(日)
◆南総支部総会

4月6日(日)
◆第23回同窓祭(今回、北総支部、
京葉支部、東葛支部が担当)

編 集 後 記

支部会報第15号をおとどけします。

今回の会報は、第9回支部定期総会を中心におとどけします。尚、この定期総会より支部長が交替されました。立崎作次支部長より吉田勝彦(32E)支部長に交替しました。立崎支部長には、支部創立以来、お忙しい中、永きに亘り、支部の為に御苦労され本当にありがとうございました。

今後も支部顧問としてよろしくおねがいします。会報の内容としては、新旧支部長の挨拶文、今回から新しく特集として『私の家庭菜園』という特集を始めました。

初回として、第12代千葉工業高校 校長を歴任されました鈴木和美先生にお願いして、先生の農作業ぶりを原稿にして御報告頂きました。

会員の皆様方の中にも、畑の大小あれ『家庭菜園』を行っておられる方がおられると思いますが、是非支部会報で畑の事、畑作のアドバイス、自慢話、失敗談、その他いろいろ御紹介ください。

又、会報の中で、『今後の予定』で紹介していますが、来年の第23回同窓祭の担当幹事は、東葛支部、京葉支部、北総支部が担当になりますので、御協力をお願いします。

新入会員募集と入会手続きについて

東葛支部では、会員を増やしてどんどん組織を大きくしていきたいと思っています。このため、役員の中に「会員増促進委員会」を作って活動しています。

会員の皆様の仲間で、会員資格のある方がいらっしゃいましたら、ぜひ入会を勧めて下さい。

1. 入会資格 千葉工業学校、千葉工業高校、および同校併設中学校の卒業生、ならびにかつて同校に在勤、在学していた方で支部長が認めた方。
東葛地域に居住している方及び千葉県外に居住している方、または出身が同地域の方、同地域に勤務されている方。
2. 会費 年会費 3,000円
3. 入会手続 役員へ入会申込みされますと郵便振替用紙をお送りしますから、年会費3,000円を振込願います。

支部会報第16号の原稿募集

東葛支部会報第16号の原稿を募集します。

1. 発行予定 平成20年4月
2. 原稿締切 平成20年3月
3. 内 容 母校の思い出・恩師の思い出・私の職場・私の仕事・私の趣味・私の特技・旅日記・近況・クラス会模様・エッセイ・呼びかけ・イベント報告 等、何でも結構です。
4. 投稿方法 卒年科・ご氏名を記入の上、郵便・FAX(自動受信)・E-mailのいずれかでご投稿下さい。
5. 投稿先 編集委員長 坂巻 実 〒277-0921 柏市大津が丘2-4-1
TEL:04-7191-5927 E-mail:minoru.sakamaki@jcom.home.ne.jp
編集委員 土屋孝夫 〒213-0001 川崎市高津区溝口3-18-17
TEL:044-844-2767 E-mail:golf-t@go2.itscom.net
編集委員 富田 博 〒272-0015 市川市鬼高3-12-39-516
TEL:047-393-0850 E-mail:c-tomi@rr.em-net.ne.jp

東葛支部会報

第15号

発 行	平成19年11月1日
発 行 者	千葉工業同窓会 東葛支部
発行責任者	支 部 長 吉田勝彦
事 務 局	事務局長 木間英一
編集責任者	編集委員長 坂巻 実